

第2回

数学って面白い！！

【数を表す漢字を見ていこう】

2回目の「数学って面白い！！」です。
前回の記事は、読んでいただけたでしょうか？
「インチ」が、単位で使われている物を見つけることはできましたか？

みなさんの身近な物だと、ジーパンのサイズに使われています。
アメリカ合衆国がインチを使っている関係で、アメリカ合衆国発祥のジーパンには、今もインチが使われています。
日本で売られている物は、もう使われていないかもしれませんが・・・。

さて今回は、数を表す漢字について考えていきましょう。
数を表す漢字って何？ と思う人もいると思いますが、きっと何回も口に出して言ったことがあると思います。
何かというと・・・

一 ・ 十 ・ 百 ・ 千 ・ 万 ・ 十万 ・ 百万 ・ ……………

みなさんは、どこまで言えますか？
一度、言ってみてください。

どこまで言えましたか？
きっと、「兆」か「京（けい）」 くらいまでではないでしょうか。

この先、実はまだまだあります。

「垓（がい）」 「秭（じょ）」 「穰（じょう）」 「溝（こう）」 「澗（かん）」

「正（せい）」 「載（さい）」 「極（ごく）」 「恒河沙（ごうがしゃ）」

「阿僧祇 (あそうぎ)」 「那由他 (なゆた)」

「不可思議 (ふかしぎ)」 「無量大数 (むりょうたいすう)」

まで続きます。

漢字で表された数を、実際に書いてみると、次のようになります。

1 (いち)

10 (じゅう)

100 (百)

1000 (千)

10000 (万)

100000000 (億)

10000000000000 (兆)

1000000000000000000 (京)

10000000000000000000000000 (垓)

すでに、これだけで読みにくいですね。

数学の大事なことに、「早く」「簡単に」「正確に」「どんなときも」と言われています。

小学校で「は・か・せ・どん」と言われたことはないでしょうか。

それを使って表してみましよう。

上の数字は「0」が多すぎて、分かりにくく、間違えやすいという問題点があります。

そこで、簡単に表す方法として、指数を使います。

※指数は、中学1年で学びます。

指数とは、同じ数字のかけ算をするときに、数字の右上に小さくつける数字のことです。

では、早速、指数を使って表してみましよう。

1

10

百・・・ 10^2 = 10の2乗

千・・・ 10^3 = 10の3乗

万・・・ $10^4 = 10$ の4乗

億・・・ $10^8 = 10$ の8乗

兆・・・ $10^{12} = 10$ の12乗

京・・・ $10^{16} = 10$ の16乗

垓・・・ $10^{20} = 10$ の20乗

杼・・・ $10^{24} = 10$ の24乗

穰・・・ $10^{28} = 10$ の28乗

溝・・・ $10^{32} = 10$ の32乗

澗・・・ $10^{36} = 10$ の36乗

正・・・ $10^{40} = 10$ の40乗

載・・・ $10^{44} = 10$ の44乗

極・・・ $10^{48} = 10$ の48乗

恒河沙・・・ $10^{56} = 10$ の56乗

阿僧祇・・・ $10^{64} = 10$ の64乗

那由他・・・ $10^{72} = 10$ の72乗

不可思議・・・ $10^{80} = 10$ の80乗

無量大数・・・ $10^{88} = 10$ の88乗

指数の数だけ、「0」がつくので、無量大数には、88個もの「0」がついています。
書くのも大変ですね。

上記の単位のうち、「載」までは古代中国人の発想で、「極」以上は古代インド人の発想になるそうです。

昔の人の想像力の凄さも感じられますね。

